

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 6 月 10 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 7 年度		
会 社 名	株式会社 傳刀組		
住 所	〒398-0001 長野県大町市平7840番地		
代 表 者 名	代表取締役 傳刀 宗久		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担 当 部 署	総務部		
担 当 者 名	臼井 貴一		
連 絡 先	T E L	0261-22-0312	
	F A X	0261-23-3411	
	電子メールアドレス	Usui-t@dendo.jp	
ホームページアドレス	http://www.dendo.jp		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	R7 年度目標値	R7 年度実績値	R6 年度実績値	R5 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m³)	2,909	2,551	4.089	2.086
リサイクル量の推移 (t・kg・m³)	2,808	2,423	3.977	2.025
売上高の推移 (円)	2,000,000,000	1,963,000,000	1,934,000,000	1,974,000,000

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

計画段階においては、工場での加工および組み立て部品の使用率を高くし、現場発生材等の抑制を図る。

実施段階においては、適正量の発注に努めるとともに、産業廃棄物においては分別を徹底し、リサイクルの向上推進を図る。

・処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合

関係機関へ連絡を行うとともに、状況把握に努め原因究明に協力する。

また、不適正に処理された廃棄物については、原因者に強く要請するが、排出事業者責任として、適切な処理を行う。

・他の不適正処理を発見した場合の協力体制

他の不適正処理に対しても、日頃注意を払うよう社員へ喚起し、不適正と認められる処理現場を発見した場合は、関係機関へ情報提供を行う。

・その他協定の目的達成のため、独自に取組む事項

作業所では、手戻り工事をなくし、余計な資材の投入、余分な廃棄物発生を抑制します。又、地域貢献事業としまして草刈り、ゴミ拾いを実施。

2月26日に行われた Teams による WEB 会議形式の「令和7年度産業廃棄物3R実践講習会」に参加しました。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	R7年度 目標値	R7年度 実績値	R6年度 実績値	R5年度 実績値
再生砕石	100	100	100	100
再生アスファルト	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100